



高齢者の長寿と健康を祝う

カメリーナで、敬老の集いを開催



85歳を迎えた人の代表者に、座布団が手渡されました

21年度の町敬老の集いは9月12日、カメリーナで開催されました。町内の70歳以上の高齢者3,992人が招待され、そのうち910人が出席しました。津金町長、菊地和子町婦人連絡協議会長があいさつした後、今年85歳を迎えた人に、記念品の座布団が手渡されました。出席者を代表して、戸田忠義町老人クラブ連合会長が謝辞を述べた後、老人体験作文の発表に入りました。

その後、開催された演芸では、猪苗代幼稚園、猪苗代保育所や町婦人連絡協議会の皆さんが歌や踊りを披露、出席した皆さんの敬老を祝いました。

元気良く「火の用心」訴える

幼年消防クラブ員が防火パレード



「火の用心」子どもたちの元気な声が響きました

猪苗代消防署主催の21年度の住宅用火災警報器設置キャンペーンと幼年消防クラブの防火パレードは9月7日、町中央通り商店街で実施されました。

パレードに先立って開かれた開会式では、法被に身を包んだ猪苗代保育所幼年消防クラブの子どもたちが「火遊びは絶対にしません。そして、猪苗代の皆さんに火の用心を呼びかけます」と防火宣言をしました。その後、一行は中央商店街をパレード。既存住宅への住宅用火災警報器の設置促進と「火の用心」を呼びかけ、防火意識の啓発を図りました。

教育施設の環境向上のため

ビルドの会が補修のボランティア



猪苗代幼稚園での補修作業 子どもたちも興味津々

猪苗代ビルドの会(大川原世資広会長)は9月25日、町内教育施設への補修作業ボランティアを実施しました。

この活動は、同会の恒例行事となっており、今年で12回目を迎えました。当日は、作業に先立ち出発式を開催し、その後、作業内容や行程を確認、2グループに分かれて、各学校へ出発しました。町内の各学校で、クロスの張り替えや電源コードを隠すモールの設置作業などが実施されました。子どもたちは、職人が作業をする、その鮮やかな手つきに目を奪われ、遊びを中断して見入っていました。

のど自慢が練習の成果競う

会津磐梯山全国大会が開催される



出演者が次々と登場し、美声を競い合う

福島県を代表する民謡として、全国の人に親しまれている会津磐梯山の全国大会は9月13日、学びいなかで開催されました。

第25回目となる今年大会には、ジュニアの部、青年の部、壮年の部と高年の部、合わせて94人が出場し、日ごろ鍛えた自慢ののどを披露。会場を訪れた約300人の聴衆を魅了しました。

ゲストとして、日本舞踊の紫派藤間流紫真藤会、花柳流みほ乃会の皆さんや前年度優勝者が出演し、会場に花を添えました。各部の優勝者は次のとおり 一般の部、鈴木久弘さん(宇都宮市)、ジュニアの部、田中沙紀さん(南相馬市)

町の観光促進プランを示す

多摩大の学生らが調査結果を発表



現地調査の結果を発表する多摩大生

多摩大学(東京都多摩市)経営情報学部の学生らと同大総合研究所のプロジェクトチームが実施した「猪苗代町の観光促進に関する現地調査」の報告会は9月24日、町役場正庁で開かれました。

この調査は、同大の浜田正幸准教授が指導する浜田ゼミの学生ら約60人と、同大総合研究所の松本祐一准教授が、猪苗代観光協会などと協力して進めてきたものです。

9月21、22の両日、町などを訪れた観光客を対象に、学生らが聞き取り調査を実施し、猪苗代町の観光動向実態やニーズを把握、それを基に町の観光促進プランを作成し、発表をしました。

無病息災などを祈り火渡り

関脇地区で麓山神社火剣祭り開催



子どもや孫を背負って参加する人もいました

関脇地区、麓山神社の火剣祭りは9月19日、土屋悟志宮司の自宅前で執り行われました。

祭りには、身を清めた地区住民など約80人が参加。木を燃やした上に渡された竹の上を、無病息災、五穀豊穡や村中安全などを願いながら、伝統行事の火渡りに臨みました。

神事に先駆けて実施されたもちつきには、地区の小学生らが参加。元気良くもちをつき、会場の皆さんに振る舞いました。

神事に参加した津金町長と関沢議長も火渡りに参加し、無事に最後まで渡りきりました。

高齢者のインフルエンザ予防接種について

インフルエンザの予防には、うがい・手洗に加え、予防接種が有効です。

町では、予防接種法に基づく高齢者のインフルエンザ予防接種を、下記のとおり実施します。予防接種は、受けてから2週間ほどで抵抗力がつき、効果は約5カ月間持続するとされています。より有効性を高めるため、季節性インフルエンザが流行する前の、12月中旬までに予防接種を受けておくことをおすすめします。

※注意

ここでいうインフルエンザの予防接種は、「季節性インフルエンザワクチン(HA)」の予防接種です。「新型インフルエンザワクチン(A/H1N1)」の予防接種ではありません。新型インフルエンザ予防接種については、別途お知らせします。

●対象者

○町に住所がある接種日に65歳以上の人

○町に住所がある60歳以上65歳未満の心臓・腎臓もしくは呼吸機能障害による身体障害者1級の人

※対象者以外の人の接種は、全額自己負担となります。

●実施期間 21年10月20日～12月31日

※期間中の1回分だけが対象。2回目以降や期間外の接種は、全額自己負担となります。

町内指定医療機関名	電話番号
町立猪苗代病院	(62)2350
矢吹医院	(62)2169
浅見クリニック	(63)2200
六角外科泌尿器科医院	(62)2640
小川医院	(62)2132
川桁医院	(66)2022
野崎医院	(66)2245
かねこ内科外科クリニック	(72)0660
マリアクリニック	(66)2700

町内老人保健施設名	電話番号
いなわしろホーム	(66)4123
ケアテル猪苗代	(66)3500
咲楽の里	(72)0557

○老人保健施設での接種は、施設利用者に限ります。



●費用

○医療機関で受ける人…自己負担2,000円(接種料4,000円のうち、半額を町が負担します)

○入所している老人保健施設で受ける人…自己負担1,000円(接種料2,000円のうち、半額を町が負担します)

●持参するもの 健康保険証・健康手帳・自己負担金

●実施場所

○町内の人…町内指定医療機関または入所している町内老人保健施設(下表)

○町外県内の医療機関で受ける人・町外県内の老人保健施設に入所している人…福島県広域予防接種に参加している医療機関・施設(詳しくは保健福祉課に問い合わせてください)

○上記以外の人(猪苗代町に住所があるが、県外の病院に入院中など)…手続きが必要です。事前に保健福祉課に問い合わせてください。

●注意事項

※1 ワクチン準備の都合上、事前に医療機関などに電話で確認してください

※2 当日の体調や持病などにより、予防接種を受けられない場合があります。医師の判断に従ってください

※3 県外の医療機関・施設で接種する場合は、町負担1/2(医療機関2,000円、施設1,000円が上限)となります。差額は自己負担となります

●問い合わせ先

保健福祉課 健康づくり業務 ☎(62)2115

創立20周年の節目を迎える

東京猪苗代町民会が記念総会開く



功労町民の称号を受ける大石喜代男さん



民謡を披露する、左から渡部一さん、関澤忠亮さん、安部利八さん、渡辺力さん

東京猪苗代町民会(たきぐちみんかい 会長 会員260人)の創立20周年記念総会は9月6日、東京都内で開催されました。

同会は、郷土の振興発展に資することを目的に、平成2年に設立されました。

この間、同会は本町に対して、会員の絵画の寄贈、フリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会への寄付、町への提言や各種事業への協賛など、さまざまな事業に取り組んできました。

総会の席上で、町から会員の大石喜代男さんへ、功労町民の称号が授与されました。

大石さんは、東京猪苗代町民会において、長年にわたり本町の振興に尽力し、また、絵画を通じて「猪苗代」を全国に紹介。大作・傑作を本町に寄贈するなどの功績が極めて顕著であることから、称号が贈られたものです。

また、本町から毎年総会に出席し、猪苗代三番叟や猪苗代盆歌などを披露している、猪苗代民謡東京保存会の関澤忠亮さん、渡辺力さん、渡部一さん、安部利八さんの4人に、瀧口幸男会長から感謝状が贈られました。瀧口会長は「いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします」と感謝の言葉を述べ、4人の労をねぎらいました。

野口英世博士立像建設募金実行委員会ニュース

野口英世博士立像建設募金実行委員会は、猪苗代町が生んだ世界的な偉人である野口英世博士の偉業と深い人間愛をたたえるシンボルとして、さらには、未来へ続く町民の心のよりどころとして、博士の立像建設に取り組むこととし、その基金とすべく募金活動を実施してきました。

町民の皆さんのご協力のもと、町内各地・公共施設に設置した募金箱や個人募金など合わせて8,918,055円(9月28日現在)の募金が寄せられています。10月末日まで、目標の1,000万円に向けて活動を続けていきますので、当委員会へのご理解ご協力をお願いします。

現在、立像は鑄造過程にあります。立像制作者の雨宮透氏(元山形大学教授)は、建設中の病院に何度も足を運び、現場担当者と綿密な打ち合わせをして、建立場所を決定しました。

10月下旬には立像が完成し、猪苗代町立病院前に建立の予定です。台座の文字や説明のプレートの文言なども具体的に決まり、作業はいよいよ最終段階となりました。

皆さんのさらなるご協力をお願いいたします。

実行委員会事務局(猪苗代観光協会内) ☎(62)2048)



9月20日、町内出身の佐藤佳秀さん(東京都調布市在住、右から2人目)と妻の和子さん(右端)が50万円を寄付。江花祥雄副実行委員長に浄財を手渡しました。